



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月6日

上場会社名 横浜丸魚株式会社

上場取引所 東

コード番号 8045 URL <https://www.yokohama-maruu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 雅裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括部長兼経営企画室長 (氏名) 佐藤 彰 TEL 045-459-2921

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	9,188	0.6	112	203.4	288	53.1	205	82.6
2024年3月期第1四半期	9,136	1.0	37	—	188	20.2	112	△10.5

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,518百万円 (72.7%) 2024年3月期第1四半期 878百万円 (262.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	32.27	—
2024年3月期第1四半期	17.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	25,152	17,011	67.5
2024年3月期	22,979	15,676	68.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 16,979百万円 2024年3月期 15,627百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	26.00	26.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,400	2.0	350	26.3	650	13.0	420	2.6	66.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	7,261,706 株	2024年3月期	7,261,706 株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	894,898 株	2024年3月期	894,898 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	6,366,808 株	2024年3月期1Q	6,366,862 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更に関する注記) .....	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(収益認識関係) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、根強い円安によりインバウンド需要は好調に推移いたしました。物価上昇を上回る賃金上昇が実現できていないことから、国内の個人消費は盛り上がり欠けるものとなりました。2024年6月には日銀が国債買入れの減額方針を決定するなど、金融市場の変動への懸念は依然として大きく、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの中核事業であります水産物卸売事業におきましては、旺盛な観光関連需要を背景に業務筋向けの商材は好調だった一方、海水温の上昇などによる漁獲量の減少、円安による加工原料価格の高騰、さらには「2024年問題」に端を発する物流コストの上昇など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは2023年度から2025年度までを対象期間とした「横浜丸魚グループ中期経営計画2023～Rebirth～」の2年目にあたり、経営として大切にしている「水産卸売事業を通じた社会貢献」「長期的視点の経営」「人を大切にする経営」をベースに、経営課題を踏まえた4つの施策に取り組んでまいりました。特に集荷力や販売力の強化の面においては、神奈川県産の集荷に重点を置き、地場魚の販売を強化して他市場との差別化を図ったことで、売上・利益に貢献いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,188百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ51百万円(0.6%)の増収となり、営業利益は112百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ75百万円(203.4%)、経常利益は288百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ99百万円(53.1%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は205百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ92百万円(82.6%)それぞれ増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (水産物卸売事業)

売上高は7,290百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ256百万円(3.6%)の増収となり、営業利益も63百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ62百万円(5,687.9%)の増益となりました。

#### (水産物販売事業)

売上高は1,770百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ215百万円(△10.9%)の減収となりましたが、営業利益は6百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ5百万円(737.2%)の増益となりました。

#### (不動産等賃貸事業)

売上高は46百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ6百万円(16.7%)の増収となり、営業利益も33百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ6百万円(22.5%)の増益となりました。

#### (運送事業)

売上高は80百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ4百万円(5.4%)の増収となり、営業利益も8百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ0百万円(10.4%)の増益となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、25,152百万円と前連結会計年度末に比べ2,173百万円増加しました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少165百万円、商品及び製品の増加499百万円、時価評価等による投資有価証券の増加1,832百万円によるものであります。

負債は、8,141百万円と前連結会計年度末に比べ838百万円増加しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加228百万円、投資有価証券の時価評価に伴う繰延税金負債の増加573百万円によるものであります。

純資産は、17,011百万円と前連結会計年度末に比べ1,335百万円増加しました。この主な要因は、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加1,312百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月14日に公表いたしました数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,706	2,652
受取手形及び売掛金	3,701	3,536
商品及び製品	1,255	1,754
その他	41	124
貸倒引当金	△499	△476
流動資産合計	7,206	7,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,756	1,740
土地	2,167	2,167
リース資産(純額)	148	135
その他(純額)	51	51
有形固定資産合計	4,123	4,094
無形固定資産		
ソフトウェア	41	35
リース資産	35	33
その他	10	10
無形固定資産合計	87	79
投資その他の資産		
投資有価証券	11,448	13,281
長期貸付金	8	8
破産更生債権等	351	307
繰延税金資産	8	9
その他	78	76
貸倒引当金	△334	△295
投資その他の資産合計	11,561	13,388
固定資産合計	15,772	17,561
資産合計	22,979	25,152

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,947	3,175
短期借入金	250	350
1年内返済予定の長期借入金	80	29
未払法人税等	50	63
引当金	55	11
その他	466	490
流動負債合計	3,850	4,121
固定負債		
長期借入金	1	0
退職給付に係る負債	367	365
資産除去債務	27	27
繰延税金負債	2,675	3,248
その他	380	377
固定負債合計	3,452	4,020
負債合計	7,302	8,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	402	402
利益剰余金	8,402	8,442
自己株式	△800	△800
株主資本合計	9,546	9,586
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,080	7,392
その他の包括利益累計額合計	6,080	7,392
非支配株主持分	48	32
純資産合計	15,676	17,011
負債純資産合計	22,979	25,152

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	9,136	9,188
売上原価	8,366	8,387
売上総利益	769	800
販売費及び一般管理費	732	687
営業利益	37	112
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	151	175
その他	1	1
営業外収益合計	152	176
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	188	288
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除却損	0	—
減損損失	31	—
投資有価証券売却損	—	7
特別損失合計	31	7
税金等調整前四半期純利益	156	283
法人税、住民税及び事業税	34	83
法人税等調整額	0	△5
法人税等合計	34	77
四半期純利益	122	205
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	112	205

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	122	205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	756	1,312
その他の包括利益合計	756	1,312
四半期包括利益	878	1,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	868	1,517
非支配株主に係る四半期包括利益	10	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	50百万円	50百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
鮮魚	1,925	—	—	—	1,925	—	1,925
冷凍	2,395	—	—	—	2,395	—	2,395
塩干加工他	2,712	—	—	—	2,712	—	2,712
水産物一般	—	1,985	—	—	1,985	—	1,985
運送	—	—	—	76	76	—	76
顧客との契約から生じる収益	7,033	1,985	—	76	9,096	—	9,096
その他の収益	—	—	40	—	40	—	40
外部顧客への売上高	7,033	1,985	40	76	9,136	—	9,136
セグメント間の内部売上高又は振替高	596	29	8	24	659	△659	—
計	7,630	2,014	49	101	9,795	△659	9,136
セグメント利益	1	0	27	7	36	0	37

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、棚卸資産の未実現利益0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産等賃貸事業」セグメントにおいて、用途変更の意思決定に伴い除却を行った資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額31百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
鮮魚	2,042	—	—	—	2,042	—	2,042
冷凍	2,435	—	—	—	2,435	—	2,435
塩干加工他	2,811	—	—	—	2,811	—	2,811
水産物一般	—	1,770	—	—	1,770	—	1,770
運送	—	—	—	80	80	—	80
顧客との契約から生じる収益	7,290	1,770	—	80	9,141	—	9,141
その他の収益	—	—	46	—	46	—	46
外部顧客への売上高	7,290	1,770	46	80	9,188	—	9,188
セグメント間の内部売上高又は振替高	460	19	6	29	517	△517	—
計	7,751	1,789	53	110	9,705	△517	9,188
セグメント利益	63	6	33	8	112	0	112

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、棚卸資産の未実現利益0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、(セグメント情報等の注記)に記載のとおりであります。